

工 事 概 要

工 事 名	R3荒川第二調節池地盤改良その3工事
工 事 場 所	埼玉県さいたま市桜区下大久保地内
工 期	令和4年4月4日～令和4年9月30日
請 負 金 額	¥310,618,000- (第1回変更)
発 注 者	国土交通省 関東地方整備局 荒川調節地工事事務所
受 注 者	中原建設株式会社

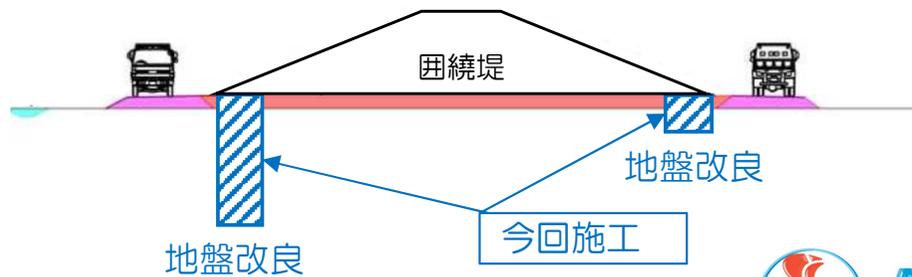
《工事の目的》

本工事は、荒川増水時の水位低減を目的とした荒川第二調節池の囲繞堤の地盤改良工事を施工することです。



さいたま市側

荒川側



《工事進捗状況》 〔4月末撮影〕



〔7月上旬撮影〕



ARAIKE



中原建設株式会社

ICTブルドーザ(マシンコントロール)による施工



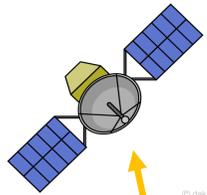
建設機械にセンサーを取付け、施工部の高さや位置を計算し、施工面のガイダンスを行います。これにより、ブレードが自動制御され、オペレーターの技量に左右されることなく、均一な敷均し作業を行うことができます。

BIM/CIMを活用した工事説明看板の設置



CIMモデルによる最終的な地盤改良後の工事説明看板を設置することにより、従来の2次元とは異なり3Dモデルによる可視化が促進され地域の方への工事理解に寄与しています。

人工衛星を活用したGNSS測量



人工衛星の位置と観測地点までの距離から位置や高さを計測できることにより、従来より測量時間の短縮や省人化につながっています。



VRを活用した安全教育訓練の実施



新規入場者教育や安全訓練にVRを活用し、危険箇所の抽出や作業内容を視覚的にイメージしやすくなり現場作業における安全意識・作業理解度の向上につながっています。